

令和4年度 第2回霧島市成人保健専門委員会 会議要旨

開催日時	令和4年10月20日（木） 19時30分～20時30分		
開催場所	霧島市役所（本庁舎）7階701・702会議室		
出席委員	加倉委員、林委員、磯脇委員、山崎委員、宮原委員、伊藤委員、東委員		
事務局	<p>【健康増進課】小松課長、梶健康づくり推進グループ長、溝口主査、清水主査、安田主事</p> <p>【すこやか保健センター】島木所長、中村副所長、野添グループ長、木原主査、渡邊主査</p> <p>【保険年金課】中村国民健康保険グループ長、木藤後期高齢者医療グループ長</p> <p>【長寿・障害福祉課】下津曲長寿福祉グループサブリーダー</p>		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
<p>議事</p> <p>(1) 健康きりしま21（第4次）計画素案の概要について</p> <p>(2) 健康きりしま21（第4次）計画素案（第4章）について</p> <p>(3) その他</p>			
<p>協議結果等の概要 委：委員 事：事務局</p> <p>(1) 健康きりしま21（第4次）計画素案の概要について ⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの質問、意見は以下のとおり。</p> <p>委： 目標値、達成目標はそれぞれの部署、セクションで決められたものか。</p> <p>事： 計画策定にあたり、庁内の関係課を含めたワーキンググループを設置し、分野毎に協議・検討している。目標値については、国の目標値と同じ設定や上昇率を主に用いた設定としている。</p> <p>委： この「成人保健専門委員会」の意図はどこにあるか。</p> <p>事： これまで成人保健の部分を協議する場がなかったもので、今回（新設し）、様々な分野の代表の方に成人保健分野の計画策定や成人保健事業の取組についてご意見をいただくため、開催しているものである。</p> <p>委： 成人と言っても急に成人になるわけではないので、各年代の方々のフォローも必要だと思う。「成人」の範囲をどのように考えているか。</p> <p>事： 子供の時からの、生活習慣病予防などにも繋がるため、その部分も含めた協議をしていただきたいが、「成人」は、基本的には、働く世代の20歳から64歳を中心とした年齢と、65歳以上の高齢者の世代と考えている。</p>			

委：SDGsは何年も前から言われていることですが、今回、新たにその視点を取り入れた理由、きっかけはあるか。

事：上位計画である「霧島市総合計画（後期計画）」も策定中であり、SDGsを意識した内容を取り入れている。下位計画にあたる本計画にも取り入れることにした。

(2) 健康きりしま 21（第4次）計画素案（第4章）について

⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの質問、意見は以下のとおり。

委：霧島市は飲食店が大変魅力的であり、外食の機会も多いのではないと思う。外食を上手に使うなど、どこかの分野で考えていければ良いのではないか。

事：食育分野の検討の中で、食を選択する力の部分について、情報発信などに組む必要があるのではないかと考え、計画に盛り込んでいる。

委：現在、三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）で協力して糖尿病、CKD予防対策事業を実施している。今後も引き続き協力していきたいと考えている。

委：CKD予防について、腎臓専門医からのアドバイス等あれば紹介してほしい。

事：以下の内容を紹介する。

- ・今後、高齢化社会の影響により、人工透析開始年齢も高齢化する可能性がある。
- ・現状として多い「糖尿病性腎症」と今後増加が見込まれる「腎硬化症」を考え、高血圧対策・糖尿病対策に取り組むことで効果は期待できる。
- ・糖尿病の治療中断者や健診未受診者は、受診した時には腎機能が著しく低下し、人工透析が必要な状態にある人が見受けられる。

委：糖尿病の治療中断者が多い中、地域・市・病院の栄養士が連携して、重症化予防や健康増進に努めていけたら良いと思う。

(3) その他について

⇒ 特になし

会議資料

【配付資料】

- 令和4年度 第2回霧島市成人保健専門委員会 会次第
- 健康きりしま 21（第4次）素案
- 重症化予防事業について
- CKD・糖尿病重症化予防のための多機関連携の取組み